



## 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 28 年 10 月 31 日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東  
 コード番号 3137 URL <http://www.fundely.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 阿部 公祐  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 杉田 雅治 (TEL) 03(6741)5880  
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の業績(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	1,554	19.0	247	38.9	254	46.6	160	37.9
28 年 3 月期第 2 四半期	1,306	—	177	—	173	—	116	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 2 四半期	25.23	24.84
28 年 3 月期第 2 四半期	18.79	18.36

- (注) 1. 当社は、平成 27 年 3 月期第 2 四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成 28 年 3 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 当社は、平成 27 年 6 月 25 日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成 28 年 3 月期第 2 四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	1,984	1,626	82.0
28 年 3 月期	1,859	1,460	78.5

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 2 四半期 1,626 百万円 28 年 3 月期 1,460 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29 年 3 月期	—	0.00	—	—	—
29 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 29 年 3 月期の業績予想(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,466	15.0	567	13.3	557	11.4	340	8.8	53.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	6,368,100株	28年3月期	6,325,500株
29年3月期2Q	—株	28年3月期	—株
29年3月期2Q	6,356,947株	28年3月期2Q	6,187,795株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の大規模な経済政策や日銀の金融政策を背景に、力強さは欠くものの緩やかな回復基調にあります。また、企業収益が良好に推移し、雇用・所得情勢も改善が見られます。ただし、先行きを展望しますと、税・社会保険料等の増加に伴う可処分所得の伸び悩みや将来の負担増の不安に伴う消費性向低下により、景気の下振れのリスクもあります。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売、また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託についても、新規クライアントの開拓や既存クライアントからの複数案件の獲得に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,554,721千円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は247,048千円（同38.9%増）、経常利益は254,526千円（同46.6%増）、四半期純利益は160,383千円（同37.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① MFD事業

当セグメントにおきましては、従来より実施している季節ごとの商品入れ替えのみならず、より具体的な疾病の予防が期待できる食材を使用した新ブランド「medical+mealtime（メディカル ミールタイム）」を中心とした新商品の開発、また、今後の売上に寄与するための取り組みとして、紹介ネットワークの拡大と深耕を目的とした、全国の医療機関等への当社及びサービス認知度向上に向けた啓蒙活動に加え、食事制限のある方にも安心してお召し上がりいただけるよう趣向を凝らした、当社の管理栄養士・栄養士による食事相談サポート付き『私のおせち』の販売促進活動を実施いたしました。

さらに、当社の管理栄養士・栄養士が顧客の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行と、継続率向上のための取り組みに注力した結果、MFD事業における売上高は1,452,023千円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント利益（営業利益）は307,108千円（同23.5%増）となりました。

#### ② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売、また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得したものの、一部案件において実施延期等が発生した結果、売上高は102,697千円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益（営業利益）は74,800千円（同33.0%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 総資産

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より124,778千円増加し、1,984,067千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加190,185千円があった一方、売掛金の減少42,860千円、商品の減少25,153千円によるものであります。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は前事業年度末より41,313千円減少し、357,790千円となりました。これは主に、買掛金の減少20,414千円、未払法人税等の減少15,722千円によるものであります。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より166,091千円増加し、1,626,277千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ2,854千円、利益剰余金の増加160,383千円によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成28年5月10日付「平成28年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,317,865	1,508,050
売掛金	165,493	122,633
商品	249,428	224,274
仕掛品	274	1,239
貯蔵品	1,077	764
その他	59,956	58,848
貸倒引当金	△147	△81
流動資産合計	1,793,948	1,915,728
固定資産		
有形固定資産	10,435	10,331
無形固定資産	9,437	10,964
投資その他の資産	45,468	47,043
固定資産合計	65,341	68,339
資産合計	1,859,289	1,984,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,474	94,059
未払法人税等	112,420	96,697
賞与引当金	18,248	16,916
その他	146,286	144,705
流動負債合計	391,430	352,379
固定負債		
資産除去債務	7,673	5,410
固定負債合計	7,673	5,410
負債合計	399,104	357,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	271,020	273,874
資本剰余金	221,020	223,874
利益剰余金	968,145	1,128,528
株主資本合計	1,460,185	1,626,277
純資産合計	1,460,185	1,626,277
負債純資産合計	1,859,289	1,984,067

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	1,306,774	1,554,721
売上原価	565,449	670,731
売上総利益	741,324	883,990
販売費及び一般管理費		
運賃	121,847	151,312
賞与引当金繰入額	16,051	16,916
その他	425,549	468,712
販売費及び一般管理費合計	563,448	636,942
営業利益	177,876	247,048
営業外収益		
受取手数料	273	213
受取補償金	7,442	1,515
保険解約返戻金	—	1,218
受取返戻金	—	4,500
その他	230	31
営業外収益合計	7,945	7,478
営業外費用		
支払利息	19	—
株式公開費用	12,125	—
営業外費用合計	12,145	—
経常利益	173,676	254,526
特別損失		
固定資産除却損	1,885	1,516
特別損失合計	1,885	1,516
税引前四半期純利益	171,790	253,010
法人税等	55,523	92,627
四半期純利益	116,267	160,383

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	171,790	253,010
減価償却費	3,776	3,721
固定資産除却損	1,885	1,516
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△84	△66
賞与引当金の増減額（△は減少）	△622	△1,332
受取利息及び受取配当金	△100	△11
支払利息	19	—
売上債権の増減額（△は増加）	111,808	42,860
たな卸資産の増減額（△は増加）	△88,793	24,502
仕入債務の増減額（△は減少）	15,256	△20,414
その他	△57,669	△1,702
小計	157,266	302,083
利息及び配当金の受取額	100	9
利息の支払額	△19	—
法人税等の支払額	△106,823	△107,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,523	194,596
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,106	△2,650
有形固定資産の除却による支出	—	△600
無形固定資産の取得による支出	△1,191	△5,297
敷金及び保証金の差入による支出	—	△3,000
その他	—	1,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,298	△10,120
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△7,500	—
株式の発行による収入	211,140	—
ストックオプションの行使による収入	—	5,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,640	5,708
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	249,865	190,185
現金及び現金同等物の期首残高	887,606	1,317,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,137,472	1,508,050



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,221,904	84,869	1,306,774	1,306,774	—	1,306,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,221,904	84,869	1,306,774	1,306,774	—	1,306,774
セグメント利益	248,689	56,238	304,928	304,928	△127,052	177,876

（注）1. セグメント利益の調整額は全社費用△127,052千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,452,023	102,697	1,554,721	1,554,721	—	1,554,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,452,023	102,697	1,554,721	1,554,721	—	1,554,721
セグメント利益	307,108	74,800	381,908	381,908	△134,860	247,048

（注）1. セグメント利益の調整額は全社費用△134,860千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。